

基本目標	出産・子育てを支え、子育てを楽しめる環境をつくる		
数値目標	数値目標	基準値	目標値
	この地域で、今後も子育てをしていきたいと回答した保護者の割合（％） （乳幼児健診時アンケート）	95.8	98.0

施策評価（施策主管部長）

施策 3-1

施策	妊娠から子育てまでの切れ目のない支援
施策内容	妊娠から出産、子育て、学齢期にわたる様々な不安や課題を解決するため、切れ目のない従来のきめ細かな相談対応をさらに強化しつつ、福祉や教育、外部関係機関を交えた子育て支援ネットワークを活用し、ソフト、ハード両面から支援していきます。

No.	関連する主な事業	トータルコスト（千円）				庁内評価（2次評価）			
		R5	R6	R7	R8	R5	R6	R7	R8
1	子育て世代包括支援事業	25,929				良好・維持			
2	育児発達支援事業	5,886				良好・維持			
3	教育相談・教育支援室事業	12,593				良好・維持			
4	小児医療費助成事業	81,629				良好・維持			
5	ひとり親世帯関係経費	12,406				良好・維持			
合計		138,443	0	0	0				

※達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

関係する主な重要業績評価指標（KPI）										
指標名		基準値	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況		
①	乳幼児全戸訪問事業のサポート率（％）	計画	100	100	100	100	100	A		
		実績	100							
②	育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合（％）（乳幼児健診時アンケート）	計画	94.3	94.5	95.0	95.5	96.0	96.7	B	
		実績	94.3	89.1						
③	養育支援事業のサポート率（％）	計画	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	A	
		実績	100.0	100.0						
前年度	成果	-								
	課題等	-								
今年度	成果	・子育て世代包括支援センター「にのはぐ」で相談や健診、訪問などを行い、切れ目のない支援に取り組んだ。 ・小児医療助成は、年度途中において令和6年度当初からの対象年齢引き上げを決めた。								
	課題等	・児童相談や発達相談などニーズが多様化してきている。								

※評価 「地方創生に非常に効果的であった」「地方創生に相当程度効果があった」「地方創生に効果があった」「地方創生に対して効果がなかった」

内部評価（評価・理由等）	
地方創生に相当程度効果があった	きめ細やかな支援を目指して取り組んでいるが、ニーズの多様化により、関係部署や関係機関との更なる連携を密にし、支援をしていく。

※評価 「施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要」「施策実現に向け順調であるため継続実施」「施策実現に向け課題があるため見直しが必要」

外部評価（評価・主な意見等）

--	--

施策評価シート（令和5年度 実績）

基本目標	出産・子育てを支え、子育てを楽しめる環境をつくる		
数値目標	数値目標	基準値	目標値
	この地域で、今後も子育てをしていきたいと回答した保護者の割合（%） （乳幼児健診時アンケート）	95.8	98.0

施策評価（施策主管部長）

施策 3-2

施策	仕事と子育ての両立支援
施策内容	保護者の就労等により保育を必要としている児童の健全育成のため、多様化する教育・保育ニーズを的確にとらえて子育て支援の充実を図るとともに、幼稚園や保育所、学童保育所と連携し、子どもたちに安全、安心な居場所を提供します。

No.	関連する主な事業	トータルコスト（千円）				庁内評価（2次評価）			
		R5	R6	R7	R8	R5	R6	R7	R8
1	子ども・子育て支援給付経費	584,084				適当・維持			
2	子育てサロン及び一時預かり運営事業	25,612				適当・要改善			
3	子育て支援対策事業	9,640				良好・維持			
4	病後児保育事業	1,365				適当・維持			
5	学童保育所維持管理経費	45,455				良好・維持			
合計		666,156	0	0	0				

※達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

関係する主な重要業績評価指標（KPI）										
指標名		基準値	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況		
①	保育園の待機児童数（4月1日現在）（人）	計画	0	0	0	0	0	A		
		実績	0							
②	ファミサポのまかせて会員数（人）	計画	73	75	80	85	90	95	A	
		実績	73	89						
③	学童保育所の待機児童数（4月1日現在）（人）	計画	0	0	0	0	0	A		
		実績	0	0						
前年度	成果	-								
	課題等	-								
今年度	成果	・保育所、学童保育、一時預かり、ファミサポ、病後児保育を継続して実施し、働きながら子育てができる環境を維持した。								
	課題等	・保育士、学童保育所支援員、ファミサポまかせて会員の人材確保 ・学童保育所の入所のニーズの増加に対する対応								

※評価 「地方創生に非常に効果的であった」「地方創生に相当程度効果があった」「地方創生に効果があった」「地方創生に対して効果がなかった」

内部評価（評価・理由等）	
地方創生に非常に効果的であった	年度当初は、待機児童が発生しないが、多様化するニーズに対応する子育て支援体制の強化のため、人材の確保は今後も必要となる。

※評価 「施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要」「施策実現に向け順調であるため継続実施」「施策実現に向け課題があるため見直しが必要」

外部評価（評価・主な意見等）

--	--

施策評価シート（令和5年度 実績）

基本目標	地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる		
数値目標	数値目標		基準値
	町商工会の新規加入数（件） （町商工会情報）		19
			目標値 20

施策評価（施策主管部長）

施策 4 - 1

施策	地域商工業の活性化
施策内容	<p>地域商工業の活性化のため、商工会と連携した創業・経営支援を継続して行うとともに、事業者の高齢化等の課題に対応した第三者による事業継承や、時代に即した事業転換などを支援します。</p> <p>また、既存のポイントカードの今後のあり方や、キャッシュレス決済の導入支援などについて商業者団体と検討し、さらなる商工業の活性化を図ります。</p> <p>「二宮ブランド事業」では、湘南オーリーブオイルをはじめとして地域ブランド力の更なる向上を図ります。</p>

No.	関連する主な事業	トータルコスト（千円）				庁内評価（2次評価）			
		R5	R6	R7	R8	R5	R6	R7	R8
1	商工業振興対策経費	56,037				良好・維持			
2	中小企業金融対策事業	25,691				良好・維持			
合計		81,728	0	0	0				

※達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

関係する主な重要業績評価指標（KPI）									
指標名		基準値	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況	
①	起業相談件数（件）	18	20	20	20	20	20	A	
	実績		31						
②	二宮ブランドの認知度（%）	-	75.0	80.0	85.0	90.0	100.0	B	
	実績		64.9						
③	中小企業融資件数（件）	11	12	14	16	18	20	A	
	実績		29						
④	事業継承に関する相談（件）	0	3	3	3	3	3	A	
	実績		3						
前年度	成果	-							
	課題等	-							
今年度	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰の影響に対する補助事業（プレミアム商品券）の実施や商工会、金融機関と連携し、創業支援を行い、事業者への支援を図った。 ・中小企業や創業者に対し、運転資金や設備資金の融資による下支えを行い、また、利子補助制度や信用保証料補助制度により、事業支援に努めた。 							
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の高齢化が進んでおり、事業継承に関する検討が必要になるが、繊細な内容のため、情報発信に留まっている。 							

※評価 「地方創生に非常に効果的であった」「地方創生に相当程度効果があった」「地方創生に効果があった」「地方創生に対して効果がなかった」

内部評価（評価・理由等）	
地方創生に相当程度効果があつた	事業者への支援については、対話を通じてニーズを的確に捉え支援策を実施し、二宮ブランドは、商工会や事業者と連携を図り、新規認定に努める。

※評価 「施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要」「施策実現に向け順調であるため継続実施」「施策実現に向け課題があるため見直しが必要」

外部評価（評価・主な意見等）

--	--

施策評価シート（令和5年度 実績）

基本目標	地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる		
数値目標	数値目標		基準値
	町商工会の新規加入数（件） （町商工会情報）		19
			目標値 20

施策評価（施策主管部長）

施策 4 - 2

施策	地域農林業の活性化
施策内容	地域農林業の活性化のため、オリーブや落花生などの特産物の普及を奨励するとともに、遊休農地の地権者に土地の利用意向を確認したうえで、農地の集約化、新規就農者・法人の参入や遊休荒廃地の復元整備を支援していきます。

No.	関連する主な事業	トータルコスト（千円）				庁内評価（2次評価）			
		R5	R6	R7	R8	R5	R6	R7	R8
1	農業振興事業	12,279				適当・維持			
2	遊休・荒廃農地対策事業	2,743				適当・維持			
3	特産物普及奨励事業（農業再生事業）	1,597				適当・維持			
4	有害鳥獣対策事業	1,749				良好・維持			
合計		18,368	0	0	0				

※達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

関係する主な重要業績評価指標（KPI）									
指標名			基準値	R5	R6	R7	R8	R9	達成状況
①	新規就農者数（人）	計画	3	3	3	3	3	3	D
		実績		1					
②	町内オリーブの生産量（トン）	計画	1.25	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	A
		実績		3.8					
③	遊休荒廃地の復元整備支援件数（件）	計画	1	5	5	5	5	5	D
		実績		2					
前年度	成果	-							
	課題等	-							
今年度	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・オリーブは農業法人による生産量が増加傾向にある。また個人農業者には、継続性確保のため資材等の補助を実施した。 ・補助金による支援により、遊休農地の一部解消や農地の集約をすることができた。 							
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保を含め、農業の担い手不足は深刻な問題であり対策が必要である。 ・オリーブの生産性を高め、生産量の安定を図ることが必要である。 							

※評価 「地方創生に非常に効果的であった」「地方創生に相当程度効果があった」「地方創生に効果があった」「地方創生に対して効果がなかった」

内部評価（評価・理由等）	
地方創生に効果があった	全国的に担い手が不足しているため、県やJAと支援策の連携をし、新規就農者の確保に引き続き努める。湘南オリーブオイルが地域団体商標として認められたことは、今まで行ってきた特産物普及のに向けた活動の成果として捉えることができる。今後より一層、周知性を高める策を検討する。

※評価 「施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要」「施策実現に向け順調であるため継続実施」「施策実現に向け課題があるため見直しが必要」

外部評価（評価・主な意見等）

・新規で就農を考えている方にとって、農地を使用するにあたっての制限から思うように進めることができないことや、鳥獣対策等も含めて自身ですべての作業を行わなければならないことは非常に厳しいので、町は関係団体とも協力しながら、新規就農者を支えるための仕組みづくりが必要である。